

## 平成18年度「専修学校社会人新キャリアアップ教育推進事業」成果報告書

事業名	派遣事業者と連携した女性を対象とする再就職支援を含むITスキル習得教育の実践		
法人名	学校法人古河コア学園		
学校名	古河テクノビジネス専門学校		
代表者	理事長 渡辺 幸久	担当者 連絡先	原田 圭二 TEL 0280-22-2411

### 1. 事業の概要

わが国の女性は出産後も仕事を辞めずに仕事と子育てを両立するライフコースを理想とする者が増加しているが、実際には働く女性の7割が第一子出産を機に退職している現状がある。そのため、子育て等が一段落した後、自己の就業希望を実現するため再就職し、キャリアアップを図ろうと考えている女性は多いと推測される。しかし、子育て等により一旦就業を中断した女性にとっては、就業の中断による現実との様々なギャップ(雇用情勢の変化・ITスキルの進歩・求職スキルの変化・就職情報源の変化等)が生じている。

再就職を希望する女性が、このギャップを埋め、再就職にスムーズに移行できるようにする為に派遣事業者・社会保険労務士・キャリアコンサルタント等と連携して「事務職を目指す女性のための再就職支援付ITスキル習得講座」を実施した。また、講座実施後2ヶ月間は「就職相談会(フォローアップ講座)」を開催し、再就職をフォローアップした。

### 2. 事業の評価に関する項目

#### (1) 目的・重点事項の達成状況

①. 受講者の資格取得状況／講座修了者16名全員がMOSの資格を取得した。内訳は以下の通りである。

MOS Word 2003 Specialist 16名中 5名受験 5名取得

MOS Excel 2003 Specialist 16名中 13名受験 13名取得

MOS Excel 2003 Expert 16名中 3名受験 3名取得

※MOSとは、Microsoft Office Specialistの略である。

②. 受講者の就職状況など

ア. 講座修了者16名中9名が就職した。

イ. 派遣会社への登録状況

(株)パソナに10名、(株)フジスタッフに6名派遣登録した。

#### (2) 事業により得られた成果

① 受講生18名中16名が実証講座を修了し、16名全員がMOSを取得するとともに、Word、Excel、PowerPointの概要を習得した。パソコンについての初心者もいたが、全員一定レベルに達した。

② 9名が就職が決定し、現在働いている。7名は就職活動中であるが、「入社面接時に、パソコンで作った履歴書を見るなり、一目置かれた」など、ITスキルカリキュラムの成果が出た。

③ 派遣登録会を2回行い、(株)パソナに10名、(株)フジスタッフに6名派遣登録した。また、「派遣」という雇用形態に対する理解を深めた。

④ 再就職支援カリキュラムについては、「自分を見つめ直すきっかけになった」、「自分について再認識できた」、「社会(企業)が求める人物像が認識できた」など、自分と社会に対する再認識(気づき)があった。また、キャリアコンサルタントの先生については、「子供がいる女性という同じ観点で相談できた」など、同じ立場の人がコミュニケーションの場を持たせた事も大きな収穫であった。

⑤ 特別講演(平成19年2月28日)・成果発表会(平成19年2月28日)を実施するとともに報告書を作成し、本事業の成果を関係者に発表した。また、新聞記事として3回、新聞告知(広告・情報コーナー等)として8回、自治体広報誌に1回掲載された。

### (3) 今後の活用

付帯教育事業として、2ヶ月コース「ITスキル習得講座」を実施していきたい。

### (4) 次年度以降における課題・展開

① 地元自治体・近隣自治体・男女共同参画室との連携促進

今回の実証講座において、古河市男女共同参画室の協力の元、古河市広報に受講生募集のお知らせを掲載してもらった所、29名の応募があった。来年度以降、古河市男女共同参画室との連携をより深めるとともに、近隣自治体の関係部署とも連携できるようにしていきたい。

② 本校の就職支援機能の強化

今回の実証講座において、派遣事業者と連携して再就職支援を行って来たが、本校の卒業生も応募してきた様に、本校の卒業生も含めた、子育てを一段落した女性を対象にした再就職を支援できるセンター機能を本校で持ちたい。

## 3. 事業の実施に関する項目

### (1) キャリアアップ講座の実施

①. 講座名：「事務職を目指す女性のための再就職支援付ITスキル習得講座」

②. 期間：平成19年10月30日から平成19年12月27日

③. 定員：20名

④. 受講者の属性・受講者数(途中退所者含む18名)：

ア. 年齢 30歳～35歳 7名、36歳～40歳 4名、41歳～45歳 7名

イ. 居住地 古河市 15名、下妻市 1名、境町 1名、野木町 1名

⑤. 場所：(株)いばらきIT人材開発センター

⑥. カリキュラム

ア. 再就職支援カリキュラム(72時間)

ビジネスマナー・雇用形態・社会保険と税金・労働法・会社法・求職スキル・プレゼンテーション・キャリアコンサルティング・茨城県西地域の雇用情勢

イ. ITスキルカリキュラム(162時間)

オフィスソフトの活用・マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)資格の取得対策

ウ. フォローアップ講座(14時間)

スキルシート登録制度と就職支援(2時間)

女性のための自己分析とコミュニケーション能力の向上(4時間)

派遣登録会(2時間)

親業とコーチング(4時間)

鍛えておきたい3つの力(2時間)

⑦. 受講生の反応

ア. ITスキルの良かった点

- ・パソコンに慣れることができ、アレルギーがなくなった
- ・目標(MOS取得)の同じ人たちが集まり、最後まで意欲を持って頑張れた
- ・勉強する環境が整っていた(家事から離れ、毎日決まった時間に通学形式で学ぶことができた)
- ・授業は非常にわかりやすく、丁寧だった
- ・アシスタントの先生がいて質問がしやすく、より理解することができた
- ・放課後に自習ができ、先生に指導もしてもらえた
- ・思っていた以上にスキルアップできた

イ. ITスキルへの要望

・受講期間について

全体にもう少し長くしてほしい

Wordの時間をもう少し取ってほしい

PowerPointは、プレゼンの実習するところまでやってほしい

・レベルについて

WordもMOS取得レベルまでやってほしい

ウ. 再就職支援の良かった点

- ・自分を見つめ直すきっかけになった
- ・自分について再認識できた
- ・実際の面接での対応に使える的確なアドバイスがあった
- ・社会(企業)が求める人物像が認識できた
- ・子供がいる女性という同じ観点で相談できた
- ・作図のゲームを通して相互理解、コミュニケーションの大切さをより実感できた
- ・伝言ゲームを通して自分の記憶力のあいまいさを実感し、メモの重要性を改めて認識した
- ・エゴグラムで自分の性格を再発見できた

エ. 再就職支援への要望

- ・就職が目的で参加していたが、直結する具体的な情報が少なかった
- ・模擬面接があると良かった
- ・成果発表会を、パワーポイントの授業の一環として全員でできたら良かった
- ・職場訪問の機会が欲しかった
- ・県西地区の企業情報をもっと欲しかった

オ. 受講支援の良かった点

- ・託児に関する支援があった
- ・費用を全額負担してもらえたので、昼間安心して勉強できた
- ・先々自分が就職する上で、子供を預けた時のシミュレーションができて大変役に立った
- ・駐車場を斡旋してもらえた

カ. 受講支援への要望

- ・もう少し近くの託児所を斡旋して欲しい
- ・フォローアップ期間も託児支援をして欲しい

キ. メンタル面での成果

- ・自信がついた
- ・人に対してパソコン操作ができると言える状態になった
- ・再就職に対して勇気が持てるようになった
- ・自分自身の可能性が見出せた
- ・向上心が触発された
- ・さらに別の資格取得(MOS、簿記等)を目指すきっかけになった
- ・8名がCAD講座を受講した

(2) 講座実施にあたって工夫した点

①受講生の募集方法について

対象者を「年齢20歳以上45歳程度までの子育てにより一旦就業を中断した女性」とし、以下のような募集方法を用いた。

ア. 募集チラシを作成し、新聞折込(42,500部)を古河市内を中心に行った。

イ. 新聞記事として採り上げてもらった。

ウ. 新聞広告を出した。

エ. ジョブカフェ・ハローワーク・公民館等に募集チラシを置かせてもらった。

オ. 古河市男女共同参画室の協力により、古河市広報に掲載してもらった。

29名の応募があったが、ほとんどの人が古河市広報を見て応募した人であった。地元自治体の広報の効果大きい事がわかった。

②講座の内容について

ITスキルだけではなく、再就職支援・就職相談会(フォローアップ講座)・派遣事業者の登録会等再就職につながる内容を心がけた。

③託児に関する支援制度について

ア. 託児に係る費用を全額負担した。(3名が利用した)

イ. 古河市が運営する「古河市ファミリー・サポート・センター」を紹介した。(2名が利用した)